

報告第3号 こいこいバスへのバス I C O C A システム（簡易型）の導入について

1 案の要旨

令和7年度に更新を予定しているこいこいバス2台に「バス I C O C A システム（簡易型）」を導入しようとするもの。

2 バス I C O C A システムとは

I C O C A は西日本旅客鉄道株式会社のシステムにより運営されている交通系 I C カードである。

全国相互利用交通系 I C カード発行枚数 約1億9500万枚のうち、I C O C A の発行枚数は約2900万枚となっており、近畿地方や中国・四国地方において最も発行枚数が多い。

また、I C O C A カードに現金をチャージしたり、I C O C A のアプリを入れてスマートフォン本体を I C O C A カードと同じにして現金を持たずに利用できる。

バス I C O C A システムは、バス・地域鉄道向けとしてコスト面において導入が難しい小規模な交通機関に対して、簡易型 I C 端末が開発された。

3 導入しようとする理由

こいこいバスは、大竹駅、玖波駅と接続しており、J R との乗り換えにおいて、共通して使用可能なキャッシュレス決済として、交通系 I C カード I C O C A が利便性が高いと判断した。

また、令和5年度に実施した「こいこいバス利用者に対するアンケート調査」において、交通系 I C カードを持っている方の割合が67%であり、すでに使っていると答えた方が60%であった。

なお、こいこいバスを交通系 I C カードで乗車できるようにした場合、使用すると答えた方の割合が67.8%であった。

参考までに、令和6年9月からバスや路面電車の支払いに本格的に導入予定の、広島電鉄新乗車券システム「モビリーデイズ」については、市内に広島電鉄のバスや路面電車が走っていないことやコストの面から、導入を見送ることとした。

4 選定業者

株式会社 J R 西日本テクシア（兵庫県尼崎市潮江1丁目1番33号）

I C O C A システムの導入に当たっては、カードの発行事業者である西日本旅客鉄道株式会社のセンターサーバ改修が必要不可欠であると同時に、I C 車載器や係員発行機等の機器の設置等についても、その開発を行った株式会社 J R 西日本テクシアに発注することが最も合理的であり、他社での実施は不可又は極めて困難であると見込まれることから、当該事業者を随意契約にて選定する。